

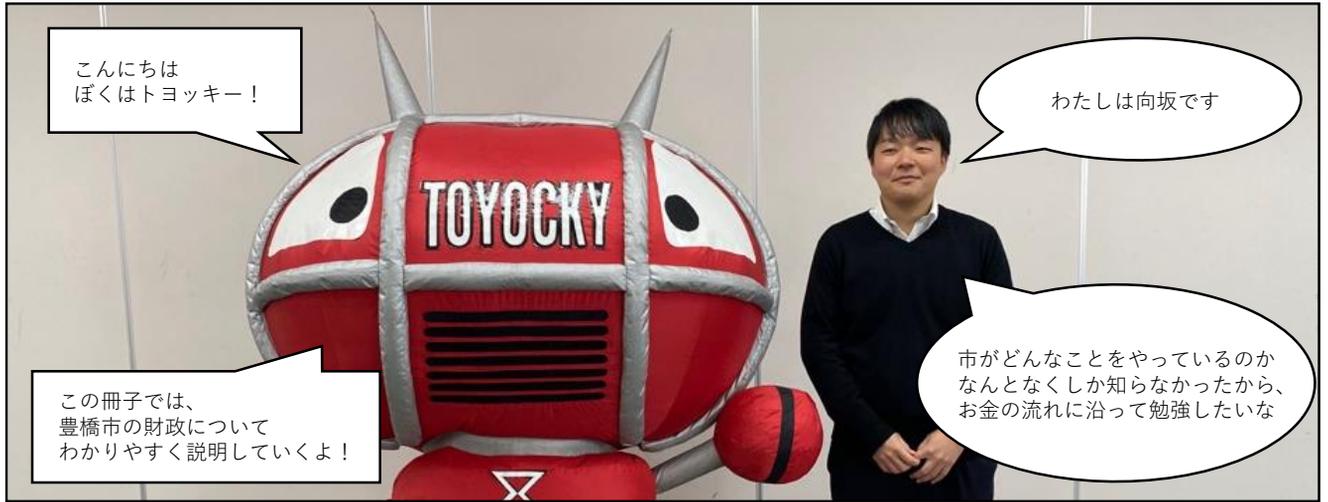


令和6年度

わかりやすい

豊橋の財政

はじめに



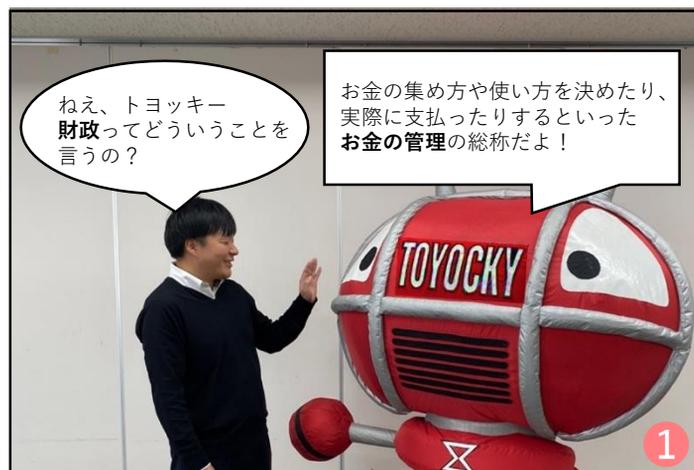
目次

■ 豊橋市の財政について	1
■ 市の収入（＝歳入）をみてみよう（令和5年度決算）	2
■ 市の支出（＝歳出）をみてみよう（令和5年度決算）	4
■ コラムⅠ 生活に身近な費用はいくら？	
■ 基金（＝貯金）の状況をみてみよう	7
■ 地方債（＝借金）の状況をみてみよう	8
■ コラムⅡ 家計簿に例えると、どうなる？	
■ 財政の健康状態をみてみよう	10
■ 豊橋市の財務諸表について	12

※各項目の数値は表示単位未満を四捨五入で処理しているため、合計と内訳の数値が一致しない場合があります。

※各指標の「市民1人あたり」の人口は各年1月1日の人口を参照しています。

豊橋市の財政について



令和7年度各会計別当初予算額

一般会計

1,559億円

福祉や教育、道路の整備など、基本的な行政サービスを提供するための会計

特別会計

768億9,400万円

一般会計と区別する必要がある特定の事業を行うための会計（全7会計）

● 競輪事業特別会計	311億7,700万円
● 国民健康保険事業特別会計	316億3,100万円
● 総合動植物公園事業特別会計	21億8,500万円
● 公共駐車場事業特別会計	1億9,400万円
● 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	1,300万円
● 後期高齢者医療特別会計	115億7,000万円
● 土地区画整理換地清算費特別会計	1億2,400万円

企業会計

726億1,600万円

水道事業など、民間企業と同じ経理方式で運営する会計（全3会計）

● 水道事業会計	99億 200万円
● 下水道事業会計	173億 100万円
● 病院事業会計	454億1,300万円

市の収入 (=歳入) をみてみよう (令和5年度決算)

お金の使い方などを事前に決めることを
予算と言うのに対して、
実際にお金をどう集めて、どう使ったかのことを
決算と言うんだよ

ふむふむ

1

それじゃあ、令和5年度の一般会計の
決算を例に、どんなお金が集まったのか、
つまり**歳入**の決算をみてみよう

「オー！」

2

自主財源が大きいほど、
いろんな市の活動が
できると言われているよ

ない袖は振れないもんね

3



一般会計歳入

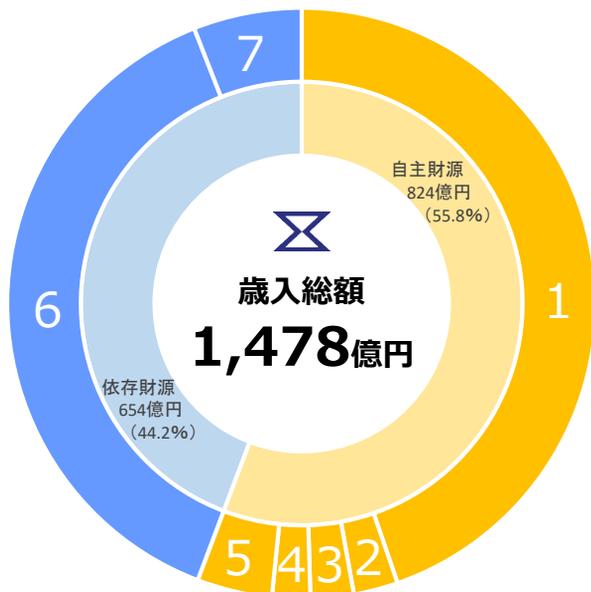


市民のみなさまに納めていただいた市税が4割以上を占めています
残りは、国や県からのお金(国県支出金)や借り入れたお金(地方債)などです

多いほど、自主的な財政運営ができるよ!



自主財源 市が自主的に収入できる財源など **824億円**



- 1 [市税] 661億円
市民や事業者のみなさまに納めていただいた税金
- 2 [繰入金] 36億円
積み立てた基金(貯金)を取り崩したお金など
- 3 [繰越金] 35億円
前年度から繰り越されたお金
- 4 [使用料・手数料等] 31億円
施設の使用料や行政サービスの手数料など
- 5 [その他] 61億円
市の財産を売ったり貸したりしたお金など

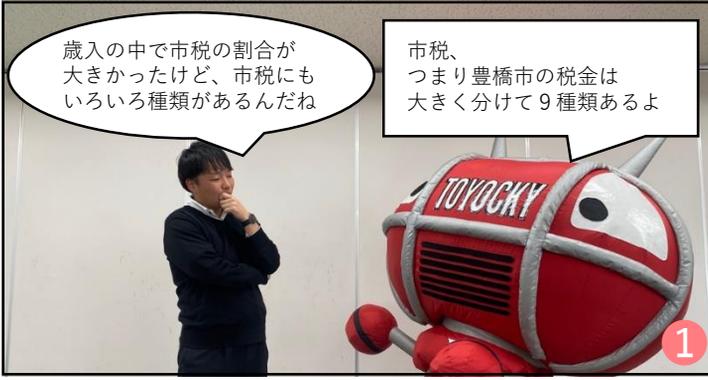
国などが決めた基準によって交付されるよ



依存財源 国や県から交付される財源など **654億円**

- 6 [国県支出金、交付金等] 566億円
国や県から交付されたお金
- 7 [地方債] 88億円
施設整備などのために借りたお金

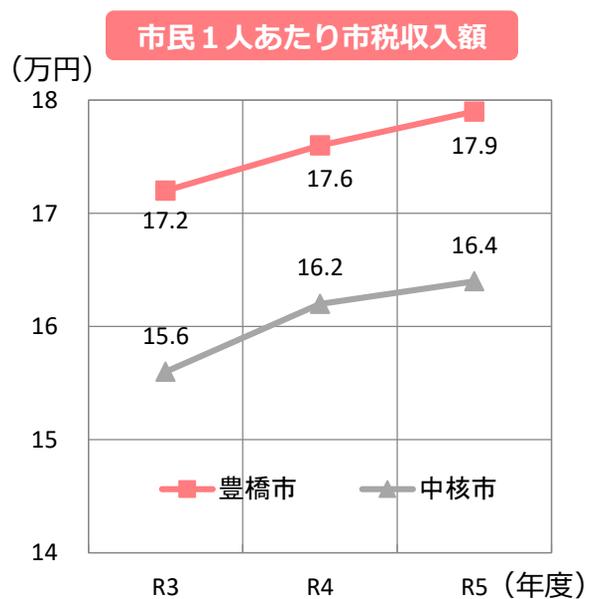
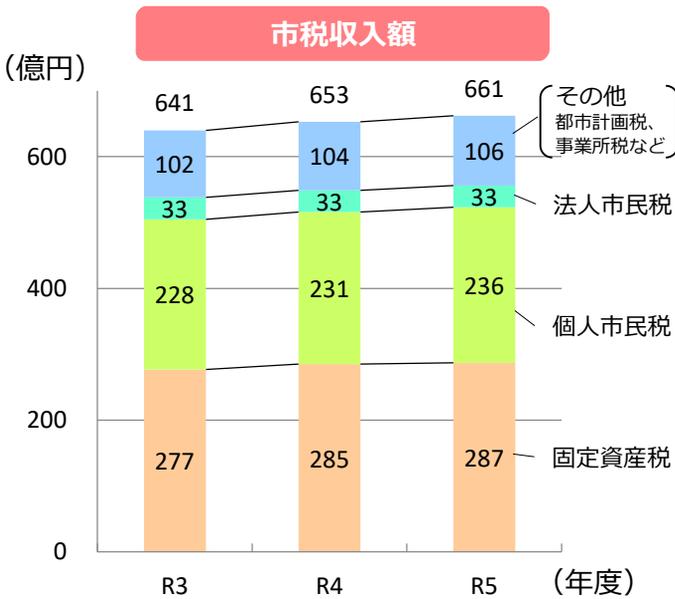
● 市税の中身は？



よく住民税と呼ばれているものは個人（法人）市民税と個人（法人）県民税の総称だよ

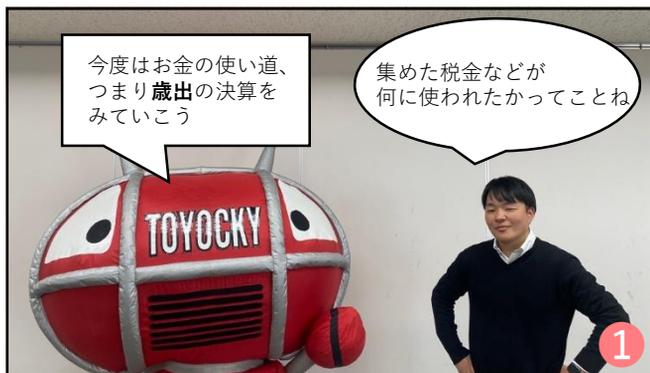


土地・家屋等にかかる固定資産税と個人市民税の割合が大きく、あわせて市税収入額全体の約8割を占めています。また、豊橋市と同じ「中核市」の平均と比べ、市民1人あたりの市税収入額は約1万5千円多いことがわかります。



中核市とは
都市の事務権限を強化するため人口規模によって定められた日本の都市制度の1つであり、人口20万以上の要件で政令により指定を受けた都市を指します。令和5年度末時点で全国に62市あり、豊橋市は平成11年度に中核市となりました。

市の支出（＝歳出）をみてみよう（令和5年度決算）



一般会計歳出 [性質別]



支払いが義務付けられている義務的経費（扶助費、人件費、公債費）の割合が大きいほど、財政の硬直化が進んでいることを示します



義務的経費 法令や性質により支出が義務付けられている経費 **704 億円**

- 1 [扶助費] 394 億円
子どもや高齢者、困っている人などを支援する費用
- 2 [人件費] 210 億円
市職員の給料などの費用
- 3 [公債費] 100 億円
借り入れたお金の返済のための費用

義務的経費以外 市の裁量で割り振れる経費 **740 億円**

- 4 [投資的経費] 221 億円
道路や学校、公共施設の整備などの費用
- 5 [物件費] 211 億円
物品の購入や光熱水費などの費用
- 6 [繰出金] 140 億円
基準により特別会計・企業会計に支出する費用
- 7 [補助費等] 135 億円
給付金や団体等への補助金
- 8 [その他] 33 億円
基金への積立金や貸付金などの費用



一般会計歳出

[目的別]



子育てや福祉、教育、健康増進、道路の整備など幅広い分野にお金が使われています

総務費 126億円
 防災・市役所の運営等に
 1人あたり34,076円

民生費 620億円
 子育て・福祉・医療に
 1人あたり168,214円

衛生費 171億円
 健康増進・ごみ処理に
 1人あたり46,256円

商工費 29億円
 産業・観光振興に
 1人あたり7,994円

土木費 148億円
 道路・河川・まちづくりに
 1人あたり40,073円

教育費 183億円
 学校教育・社会教育に
 1人あたり49,684円

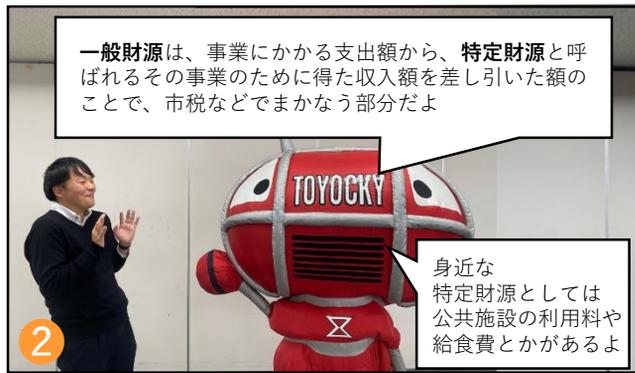
消防費 34億円
 消防・救急活動に
 1人あたり9,183円

公債費 100億円
 借り入れたお金の返済に
 1人あたり27,125円

その他 33億円
 議会運営や農林水産業振興に
 1人あたり9,138円

一般会計全体 (1,444億円) では、1人あたり**391,742円**となっています。 R6.1.1時点人口 368,686人にて計算

コラムⅠ 生活に身近な費用はいくら？



文化・スポーツ施設の運営に要した費用

(年間の事業費)
事業費：16億円 一般財源：14億円

(市民1人あたり年間)
事業費：4,236円 一般財源：3,666円

穂の国とよはし芸術劇場の管理などに使われました

高齢者福祉に要した費用

(年間の事業費)
事業費：11億円 一般財源：9億円

(市民1人あたり年間)
事業費：29,835円 一般財源：24,007円

東三河広域連合介護保険事業負担金などに使われました

こども医療に要した費用

(年間の事業費)
事業費：17億円 一般財源：13億円

(市民1人あたり年間)
事業費：4,236円 一般財源：3,666円

令和5年度のこども医療の受診件数は延76万件でした

ごみ処理に要した費用

(年間の事業費)
事業費：47億円 一般財源：40億円

(市民1人あたり年間)
事業費：12,722円 一般財源：10,826円

ごみ焼却処理事業やごみ収集事業などに使われました

公園の維持管理に要した費用

(年間の事業費)
事業費：8億円 一般財源：6億円

(市民1人あたり年間)
事業費：2,195円 一般財源：1,571円

みなさんの憩いの場である公園は市内に420か所、全部で300ha以上あります

市立小中学校の運営に要した費用

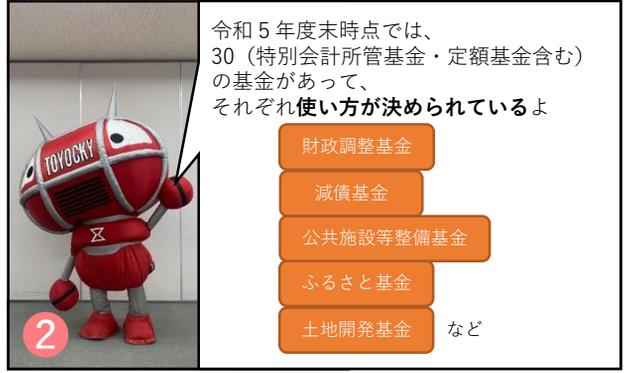
(年間の事業費)
事業費：72億円 一般財源：23億円

(児童生徒1人あたり年間)
事業費：240,461円 一般財源：75,827円

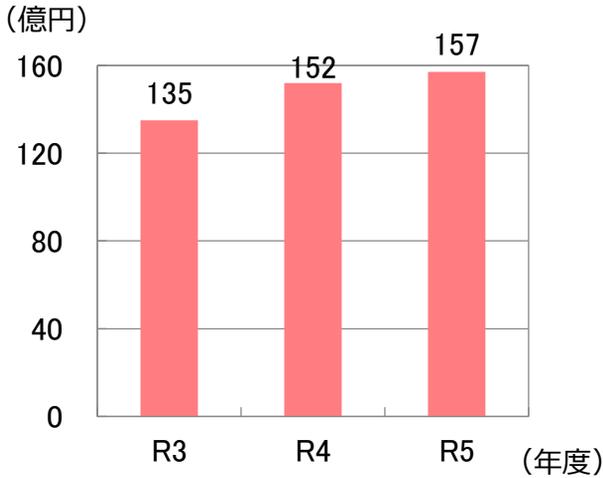
令和5年度の児童生徒数は3万人、全74校の運営費は72億円となりました

 R6.1.1時点人口 368,686人にて計算

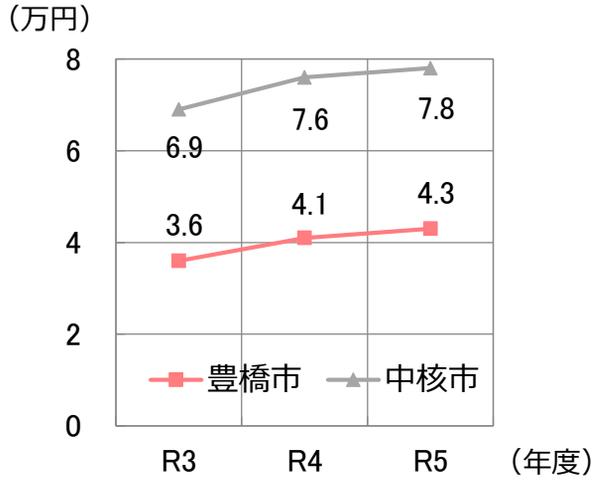
基金 (=貯金) の状況を見てみよう



基金現在高 (一般会計)

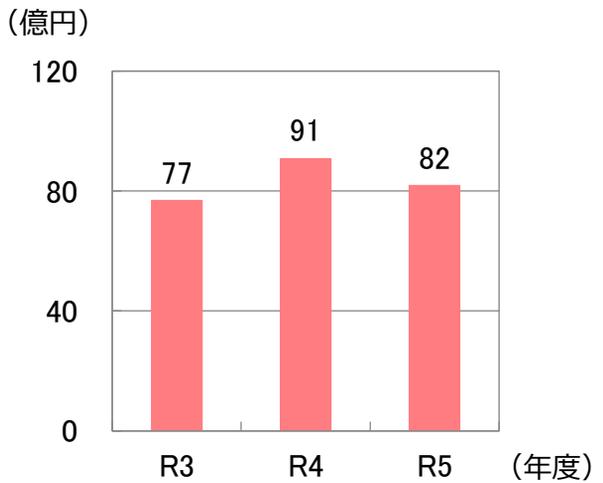


市民1人あたり基金現在高 (一般会計)

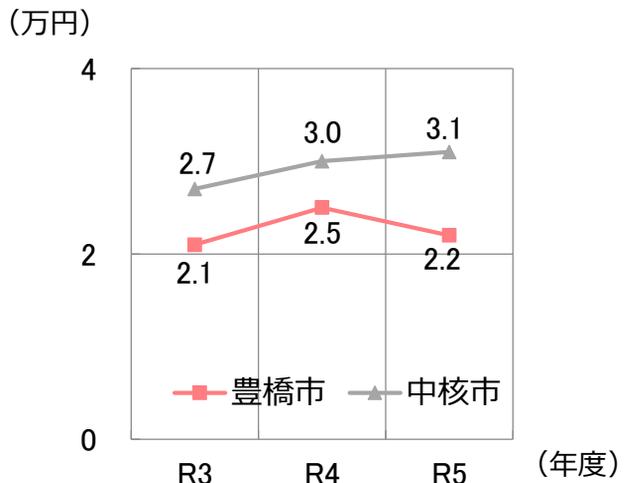


💡 令和5年度末の市民一人当たりの基金現在高は4万3千円と、中核市62市中56位となっており、中核市の中では低水準で推移しているため、「歳入の確保」や「歳出の見直し」のための様々な取組みを進めています

財政調整基金現在高

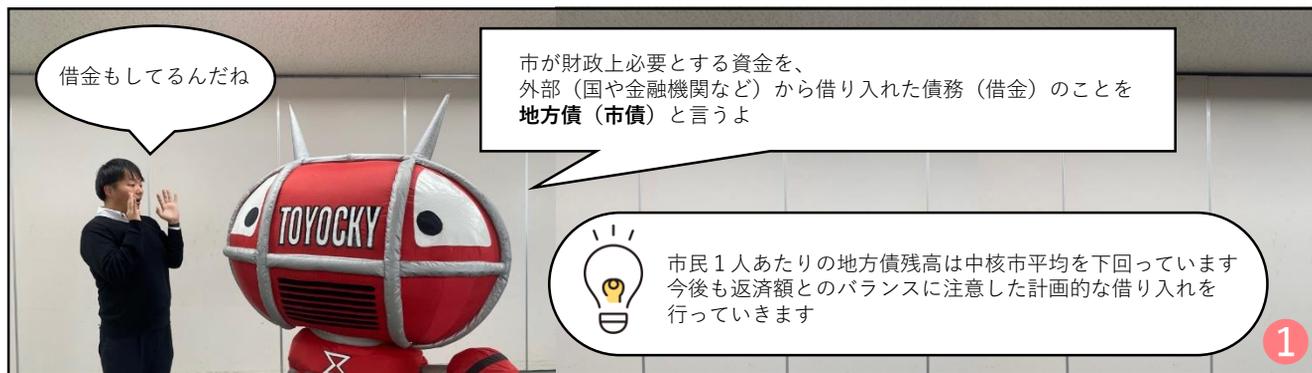


市民1人あたり財政調整基金現在高



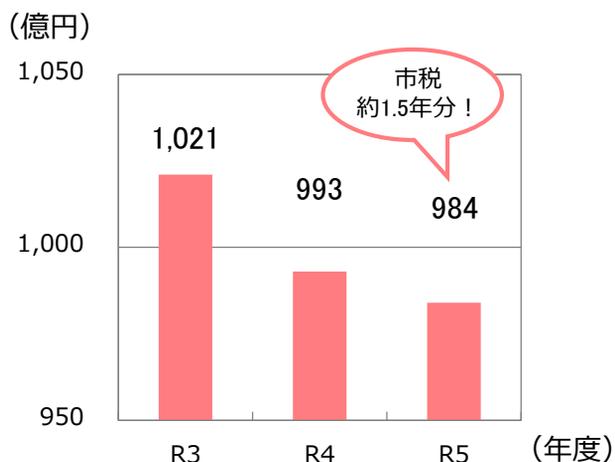
💡 **財政調整基金とは**
年度間の財源調整や社会や経済状況の変化などに対応するために積み立てられた基金です。中核市一人当たりの基金現在高と比較すると、豊橋市は平均を下回っています

地方債（=借金）の状況を見てみよう

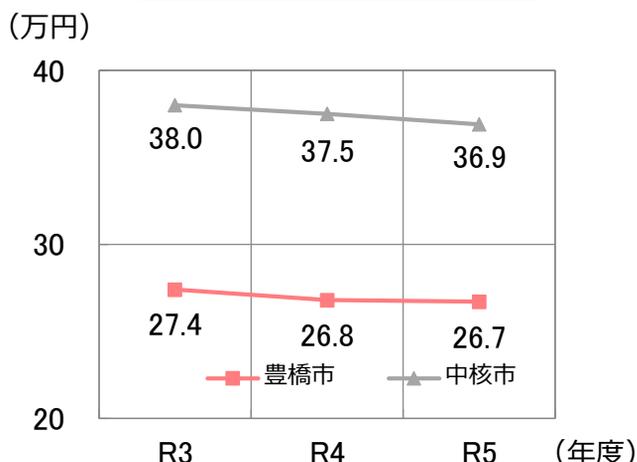


1

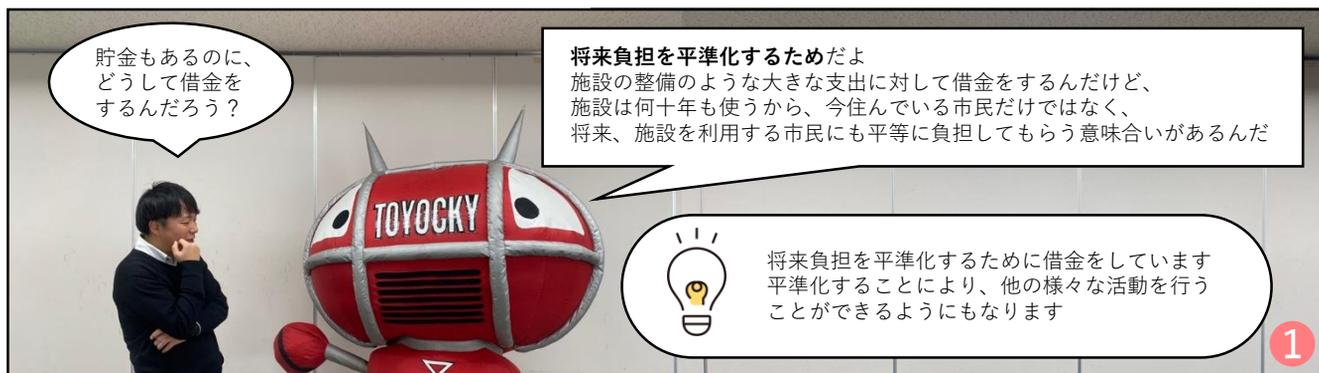
地方債残高



市民1人あたり地方債残高

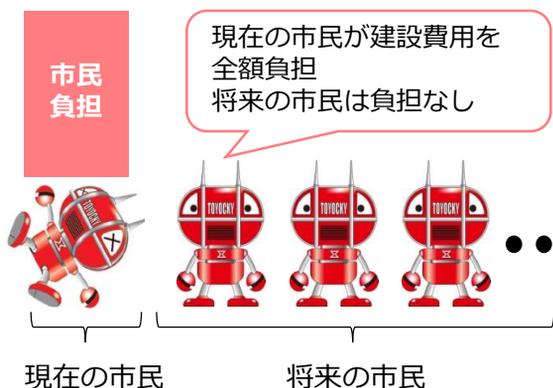


● どうして借金をするの？

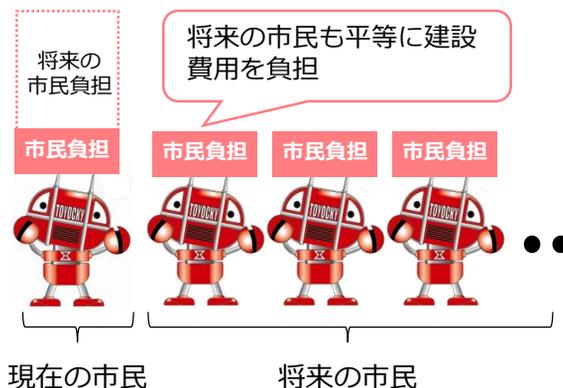


1

地方債を使わないで事業を行うと…



地方債を使うと…



コラムⅡ 家計簿に例えると、どうなる？

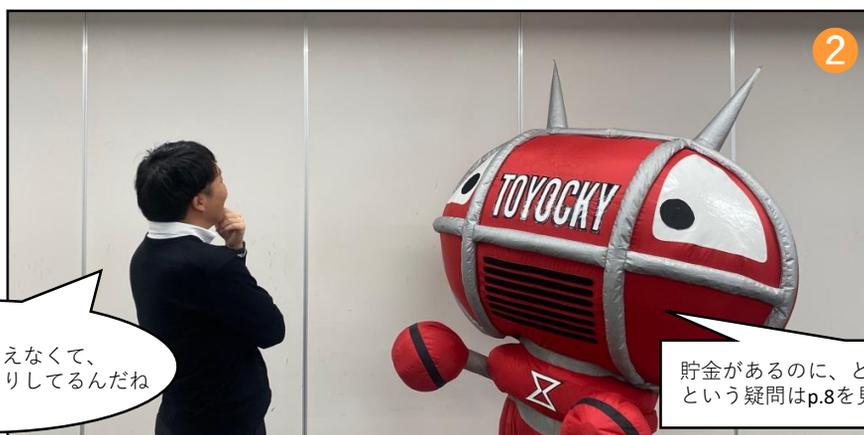


支出はp.4の性質で例えてるんだね



月収40万円（年収480万円）の家庭に例えてみたよ！

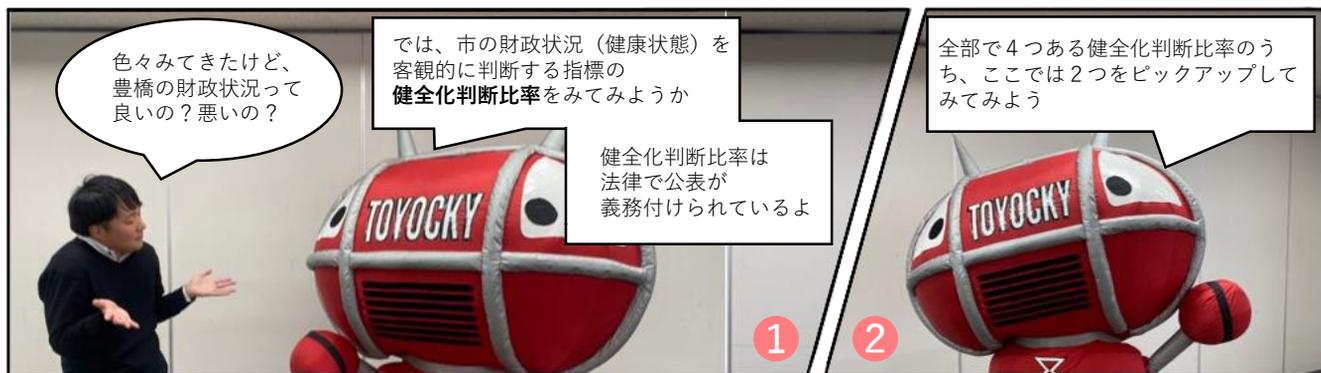
収入			支出		
前月からの繰越	〔繰越金〕	10,000円	ローンの返済	〔公債費〕	27,000円
給料	〔市税〕	179,000円	食費	〔人件費〕	57,000円
親からの援助	〔国県支出金等〕	153,000円	光熱水費・日用品	〔物件費〕	57,000円
パート収入	〔使用料・手数料等〕	24,000円	家族の医療費	〔扶助費〕	107,000円
貯金の引き出し	〔繰入金〕	10,000円	子どもへの仕送り	〔補助費等・繰出金〕	74,000円
借金	〔地方債〕	24,000円	家の修理、増改築	〔投資的経費等〕	60,000円
収入の合計		400,000円	支出の合計		391,000円
貯金残高	〔基金残高〕	年収480万円に対し 511,000円	ローン残高	〔地方債残高〕	年収480万円に対し 3,198,000円



給料だけではまかなえてなくて、借金や貯金でやりくりしてるんだね

貯金があるのに、どうして借金をするのか？という疑問はp.8を見てね！

財政の健康状態をみてみよう



● 財政の健康状態を示す健全化判断比率

実質公債費比率 ●○○

地方債（借金）の返済は大丈夫かな？



令和5年度： **5.1** % < 中核市62市中、比率が低い方から30番目 >

- 収入に対する年間返済額の割合をあらわす「実質公債費比率」は5.1%となりました。今後は、比率を高めないためにも、計画的な地方債の借入れが必要です。
- 国が定める早期健全化基準(25.0%)を大きく下回っており、財政の健全性が保たれているといえます。

家計に例えると

実質公債費
比率

=

年間の
借入金返済額
年収

将来負担比率 ●○○

将来の市民の負担はどれくらい？



令和5年度： **27.1** % < 中核市62市中、比率が低い方から36番目 >

- 収入に対する将来の返済予定総額（地方債や複数年契約による支払いなど）の割合をあらわす「将来負担比率」は、27.1%となりました。
- 国が定める早期健全化基準（350.0%）を大きく下回っており、令和5年度は前年度から0.7ポイント改善しました。今後も注意しながら健全化の取組みを進めていきます。

家計に例えると

将来負担
比率

=

ローンなどの
返済予定総額
年収

健全化判断比率の年度ごとの推移をみてみましょう。上で紹介した2つの指標のほかに、「実質赤字比率」と「連結実質赤字比率」という指標がありますが、どちらも赤字はなく、4つある健全化判断比率すべて青信号を維持しています。

国が定める危険ライン

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	● ○ ○	● ○ ○	● ○ ○
実質赤字比率	赤字なし (6.96 %)	赤字なし (5.58 %)	赤字なし (3.76 %)
連結実質赤字比率	赤字なし (33.64 %)	赤字なし (34.66 %)	赤字なし (31.26 %)
実質公債費比率	3.8 %	4.4 %	5.1 %
将来負担比率	33.3 %	27.8 %	27.1 %

早期健全化基準	財政再生基準
● ○ ○	● ○ ○
11.25 %	20.0 %
16.25 %	30.0 %
25.0 %	35.0 %
350.0 %	

※ () 内は黒字比率を記載しています。



健全化判断比率のほかにも市の財政状況を表す色々な指標があるよ
その中でも重要視されている経常収支比率と財政力指数をみてみよう

● 財政の余裕を示す 2つの指標

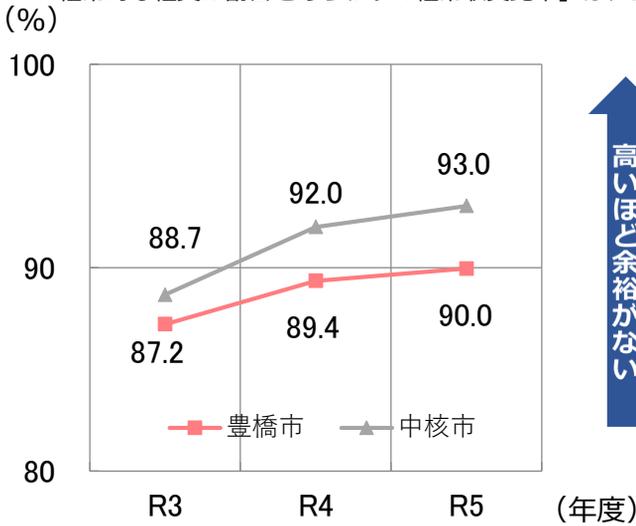
経常収支比率

新たな行政活動を行うための余裕はある？



令和5年度： **90.0%** 〈中核市62市中、比率が低い方から13番目〉

- 経常的な収入のうち一般財源（市税や地方譲与税など、用途が限定されていないもの）に対する、毎年支払う経常的な経費の割合をあらわす「経常収支比率」は、90.0%となりました。



家計に例えると

経常収支
比率

生活の中で
必ずかかる費用
(食費や家賃等)

給料など

- 比率が高いほど、新たな行政活動を行う余裕がない（財政構造の弾力性が小さい）ことを示します。
- 中核市平均より低い値を維持していますが、福祉などにかかる扶助費が毎年増えており、財政の硬直化には注意が必要です。

財政力指数

愛知県の市町村は比較的財政力指数が高いんだ！

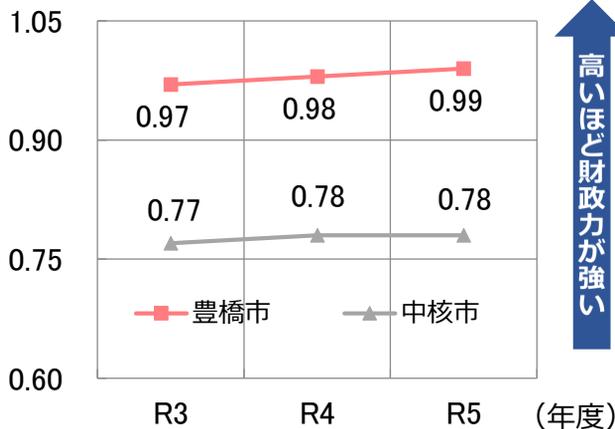


令和5年度(単年度)： **0.99** 〈中核市62市中、比率が高い方から3番目〉

- 市町村の財政力を示す「財政力指数」は、国の規定によって算出した標準的な需要額に対する標準的な収入額の割合(市の運営費に対して、どのくらいの収入があるか)をあらわす指数です。

令和5年度(単年度)は0.99となりました。(一般的には、3か年の平均値を用います。)

※グラフは単年度の指数の推移



家計に例えると

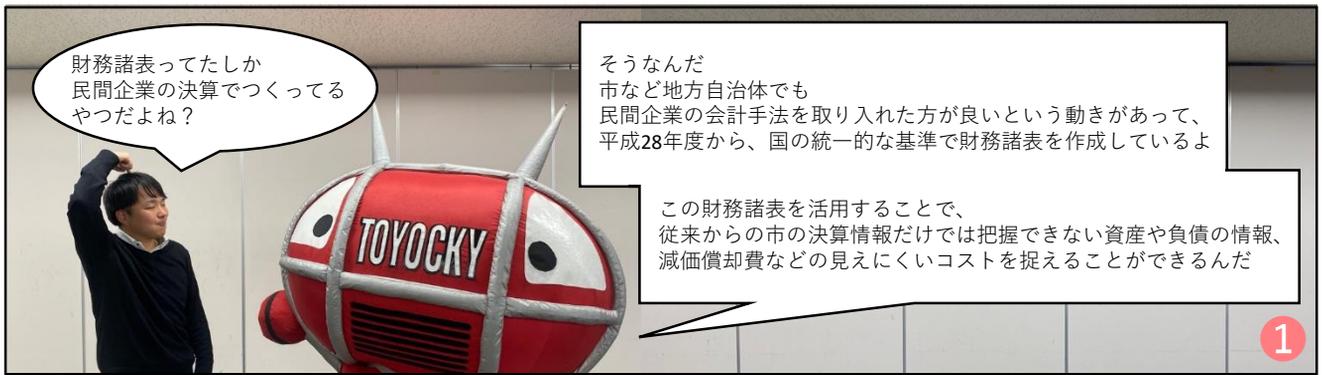
財政力
指数

給料など

標準的な生活に
必要な費用

- 数値が高いほど財政力が強いことを示し、1を下回ると収入が不足する状態として、国から「地方交付税」が交付されます。

豊橋市の財務諸表について



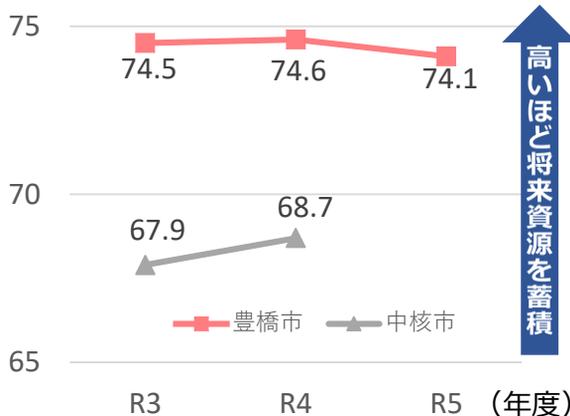
純資産比率

将来世代と現役世代の負担の割合は？



令和5年度(一般会計等)： **74.1** (中核市62市中、比率が高い方から18番目※)

●資産総額に占める純資産の割合で、将来世代と現役世代の負担割合を示します。一般的に、純資産の減少は、現役世代が将来世代にとっても利用可能であった資源を消費して便益を享受する一方で、将来世代に負担が先送りされたことを意味し、逆に純資産の増加は、現役世代が自らの負担によって将来世代も利用可能な資源を蓄積したことを意味しています。



家計に例えると

資産から負債
(ローンなど)を
引いた額

純資産比率

貯金、家、車、株
などの資産合計

●令和5年度は、減価償却の額が資産形成額を上回ったことや、現金預金の減少により、前年度と比較して純資産比率は減少し、純資産合計が減少しているため、今後も将来世代に過度な負担がかからないような財政運営を行う必要があります。

行政コスト対税収等比率

豊橋市は中核市平均より多く過去の資産を取り崩しているんだね



令和5年度(一般会計等)： **109.0** (中核市62市中、比率が低い方から60番目※)

●税収などの財源に対する純経常行政コストの比率をみることによって、当該年度の税収等のうち、どれだけが資産形成の伴わない行政コストに消費されたのかを測ることができます。この比率が100%を上回ると、過去から蓄積した資産が取り崩されたことを表します。



家計に例えると

食費、光熱費
など資産を
形成しない費用

行政コスト
対税収等比率

給料など

●令和5年度は、純経常行政コストは増加し、国県等補助金の減少により財源も減少したことで比率が100%を上回っており、引き続き行政コストの削減及び財源確保に努める必要があります。

※令和5年度の財務諸表は未公表の自治体もあるため、令和4年度で比較しています

令和6年度
わかりやすい**豊橋の財政**

令和7年3月発行 第1刊

編集・発行 豊橋市財務部財政課

〒440-8501 豊橋市今橋町1番地

電話 (0532) 51-2117

F A X (0532) 55-6385

E - mail zaisei@city.toyohashi.lg.jp

ホームページ <https://www.city.toyohashi.lg.jp/62169.htm>



財政のこと、わかった？



詳細なデータを知りたい場合は
以下をチェック！

公表資料	内容	この冊子の 関連ページ	ホーム ページ
予算の見どころ	各年度の当初予算の内容をわかりやすく紹介しています	p.1	
主要施策成果報告書	各年度の主要な施策の成果をまとめています	p.2~p.5, p.7,p.8,p.11	
財政状況資料集	各年度の財政の状況や分析に関する情報をまとめています	p.2~p.5, p.7,p.8,p.11	
健全化判断比率・ 資金不足比率	健全化判断比率などが詳しくわかります	p.10	
財務諸表	資産形成や見えにくいコストの状況が詳しくわかります	p.12	
財政公表	決算前の収入・支出状況などが詳しくわかります	—	